

## 【医療法人杏野会 各務原病院 様】

上映日:2015/11/7(土) 場所:岐阜市民会館(岐阜県岐阜市)



会場となった岐阜市民会館

## 依存症当事者のみではなく、当事者を支える側におおきなインパクトを与えた作品

## ●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

当院は厚生労働省の指定する依存症治療拠点病院に指定されております。毎年、11月の“アルコール関連問題啓発週間”の活動として今回、検討いたしました。

対象が一般市民となりますので医師の講演のみではなく映画を上映することにより集客が見込めないかと考え今回に至りました。

## ●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

院内、依存症治療拠点病院事務局です。

## ●地域へどのように告知をしましたか？

・事業協議会(県の保健医療課・薬務水道課・保健福祉センター・保健所等)

・新聞掲載  
・外来患者  
・県下病院へのDM  
・自助グループ  
です。  
また、事前登録制で進めました。

## ●開催に必要な資金はどのように捻出しましたか？

事業資金より捻出しました。

## ●上映会開催の感想を教えてください。

一般的に市民公開セミナーは医師、大学の教授の講演が主となり、講演終了後、離席される事が多く見られますが、今回は最後まで参加が多く見受けられました。来場者が映画に興味を抱いたからだと思われそうです。現実に依存症に何だかの携わりがある方は、共感されていました。

また一般市民の皆さまが半数近くを占め、事業としても良い成果が出せました。

## ●今後、どのような活動を？

来年も同様な企画を考えております。映画も含め検討したいと考えます。

## ●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

依存症をテーマとした映画は洋画・邦画も含め多々あります。今回、参加された方は医師も含め形は異なりますが”依存症”と関わっている方と思われそうです。『共に歩く』は当事者のみではなく当事者を支える側におおきなインパクトを与えた作品であると思います。来場者からも“解りやすい”、“共存”との言葉がアンケートで述べられており、来場者には良い印象が見受けられた作品です。

市民公開セミナー「アルコール依存症を知ろう」内での上映



ご担当者: 医療法人 杏野会 各務原病院  
依存症治療拠点機関事業 事務局 武藤 晴巳さん

医療法人杏野会 各務原病院

<http://kakamigahara-hosp.jp/>


岐阜県各務原市に立地する精神科・心療内科・内科の病院。

「共に感じ、共に生きる」を理念に、アルコール依存症をはじめとした依存症に対する専門的診療とともに、うつ病、総合失調症、認知症、不安障害など幅広い精神疾患の治療に取り組む。